

## 特別支援学級における自立活動の指導に関する研究

特別支援教育室 蒲池 慎一 山内 望 川本 孝  
越智 宣和 鶴井 宏治  
研究協力者 愛媛大学教育学部准教授  
苅田 知則

### 1 研究の目的

平成29年3月告示の小・中学校学習指導要領では、特別支援学級における指導において特別の教育課程を編成する際には、「障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るため、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動を取り入れること」が示された。しかし、先行研究では、特別支援学級における自立活動の指導の課題として「指導内容が不明確である」「授業の組み立て方が分からない」といったことが挙げられており、本県でも同様の課題があると考えられる。そこで、特別支援学級担任を対象とした自立活動の指導の手引きを作成し、提供することで、自立活動の指導の充実が図られると考え、2か年の研究として取り組むこととした。

### 2 研究の内容

#### (1) 平成30年度の取組

##### ア 自立活動の指導の手引きの作成

自立活動の目標や教育課程上の位置付け等を示した「自立活動の概要」と、指導計画を作成する際の手順をまとめた「自立活動の進め方」で構成する「特別支援学級における自立活動ガイドブック（案）」（以下、「ガイドブック（案）」という。）を作成した。また、書き込みながら指導計画の作成を進めることができる『自立活動の指導「手順シート」』（以下、「手順シート」という。）と、作成の際に参考となる「補助資料」を加えた。

##### イ 協力学校への意見聴取

「ガイドブック（案）」の内容について、協力学校（小学校1校・中学校1校）の特別支援学級担任に意見聴取を行った。その結果、「ガイドブック（案）」は自立活動の指導に役立つ内容であることが確認できた。一方で、文章表記の見直し等が課題として挙げられ、これら意見聴取の結果と愛媛大学教育学部苅田知則准教授の助言を基に、内容の改善を図った。

#### (2) 令和元年度の取組

##### ア 意識調査による「ガイドブック（案）」の有用性の検証

協力学校の特別支援学級担任9名に、改善した「ガイドブック（案）」の活用前後の、自立活動の指導に対する意識調査を行った。その結果、明確な意識の変容は見られないものの、計画を立てたり、指導を行ったりすることへの困難さが軽減されていると考えられ、自立活動の指導において一定程度「ガイドブック（案）」が役立つことが確認できた。

##### イ 実践事例を通じた「ガイドブック（案）」の有用性の検証

協力学校の特別支援学級担任（小・中の各1名）は、事例対象者を一人決め、「ガイドブック（案）」を参考に「手順シート」に記入しながら、自立活動の指導を行った。その結果、二つの実践事例とも事例対象者のよりよい変容が見られるとともに、担任への意見聴取からは、「ガイドブック（案）」を活用することで自立活動の指導について理解を深め、自分の考えを整理しながら実践できることが示された。

### 3 研究のまとめ

今年度の二つの取組によって、「ガイドブック（案）」の有用性を裏付けることができた。今後は、意識調査で明らかとなった「ガイドブック（案）」の改善が必要な箇所に修正を加えた後、本センターホームページに掲載し、各学校が活用できるようにしたり、研修講座で取り上げたりすることで、特別支援学級における自立活動の指導の充実に向けた支援を行っていきたい。